

焼津海道 港・まち磨き構想

— 焼津駅周辺・焼津漁港周辺拠点整備基本構想 —

(目標年度:2039年)

構想の目的

JR焼津駅から焼津漁港に至る地区は、焼津漁港の発展と共に栄えてきた本市の中心市街地であり、本地区のにぎわいと活力の再生を図るため、現在、「焼津市中心市街地活性化基本計画」をはじめ、「焼津駅南まちづくりプラン」、「焼津市新庁舎建設基本計画」、及び「ターゲットクルこども館建設計画」などの個別計画により、各種事業を実施しているところです。

対象範囲

厳密な区域設定は行わないものの、下記を概ね包括するJR焼津駅から焼津漁港までの範囲(下図参照)

- ・JR焼津駅周辺
- ・焼津漁港(焼津地区・新港地区)
- ・中心市街地活性化基本計画区域
- ・焼津市役所周辺部等



本構想は、本地区の将来イメージを明確にして、具体的な整備活用方針を定めるとともに個別計画を関連付け、相互に連携させることにより相乗効果を生み出し、地区全体のさらなる魅力向上につなげ、第6次総合計画に掲げる「焼津に住み続けたい、住んでみたい、行ってみたい」と思えるまちづくりと、焼津市都市計画マスタープランで定める「焼津地域まちづくり構想」の実現を図ることを目的に策定します。

地区の将来イメージと基本方針

まちづくりのテーマ

にぎわいと活力が満ちあふれた
焼津の核となる『にぎわい交流拠点づくり』

地区の将来イメージ

港町の活気とにぎわいのあるまち

港町の歴史や文化、自然に親しむまち

誰にも優しく住み続けたい、住んでみたいまち

基本方針 この将来イメージを実現するための基本方針を次のように整理します。

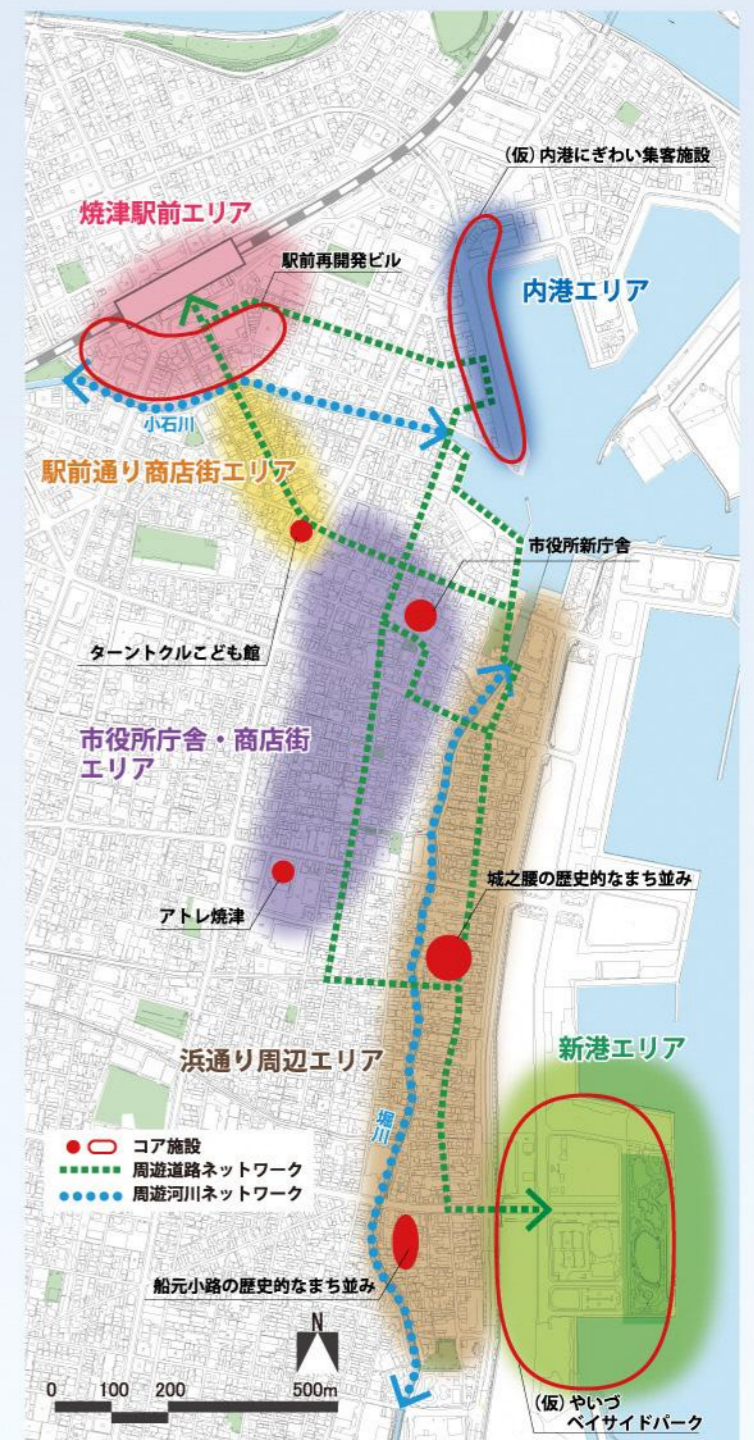
- ① 地区の魅力と機能を活かしたエリア形成とエリアマネジメントの推進
- ② 楽しみながら周遊、休息できるまちづくりの推進
- ③ 安心・安全で快適な生活環境の創造

期待される効果 これらの基本方針に基づき、将来イメージを実現することで、以下の効果が期待されます。

- 本地区の豊富な地域資源や特性を活かし、相互に連携を図ることにより、地域全体の魅力がさらに向上します。
- 子どもからお年寄りまで多くの方が訪れ、回遊し、にぎわいと活力が生まれます。
- 定住人口の拡大や住民の郷土愛の醸成等、総合的な地区の活性化につながります。
- 本地区の活性化を市全域に波及させ、本市の更なる発展に寄与します。

地区の将来構造の考え方

将来イメージ実現のための基本方針に基づき、**6つのエリア**と**8つのコア施設**、及び**道路・河川の周遊ネットワーク**を配置し、エリア、コア施設、ネットワークを相互連携させることにより、一層の魅力向上と機能強化を図り、地区全体のにぎわいと活力を創出します。



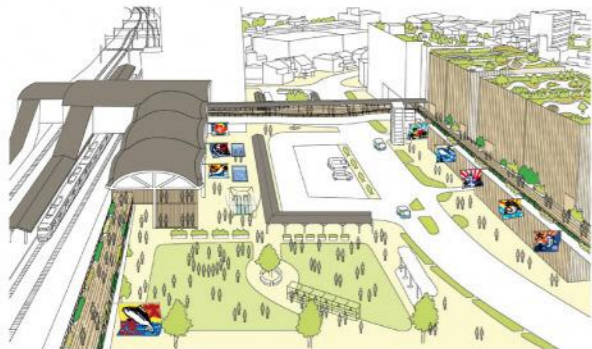
焼津駅前エリア

■整備活用方針

市の玄関口に相応しいシンボル性と利便性を兼ね備えるとともに、多様な人々が暮らし、集い、交流し、にぎわいを地区全体に広げていくエリア

■コア施設

駅前再開発ビル



整備イメージ

駅前通り商店街エリア

■整備活用方針

既存ストックの活用による商店街の振興と子育て支援の拠点であるターントクルこども館の活用により、子どもから高齢者まで、多様な人々の交流とにぎわいの創出を目指すエリア

■コア施設

ターントクルこども館



整備イメージ

市役所庁舎・商店街エリア

■整備活用方針

行政機能や商店が集積する地域特性を活かし、市民の交流と生活の質を高めるエリア

■コア施設

・市役所新庁舎
・アトレ焼津



整備イメージ

周遊ネットワークの整備活用施策

- ①エリア間を結ぶ質の高い道路空間の創出等
- ②河川・水路沿いの遊歩道等の整備
- ③ベンチの設置や空き地等を活用した休息所の整備
- ④周遊を促す案内サイン等の整備
- ⑤周遊ネットワーク沿いの緑化の推進
- ⑥コミュニティサイクルシステムの導入
- ⑦自動運転技術を活用した各エリアを結ぶ公共交通の導入



堀川沿いの遊歩道



自動運転EVバスのイメージ



内港エリア

■整備活用方針

港町としての風情ある景観や水産資源等を活かし、水産業の振興とともに観光交流を活性化させるエリア

■コア施設

(仮)内港にぎわい集客施設



整備イメージ

浜通り周辺エリア

■整備活用方針

焼津の水産業発祥の地としての歴史・文化とそれを伝える風情ある町並み景観を守り、活かし、交流人口の拡大を図るエリア

■コア施設

城之腰の歴史的なまち並み
船元小路の歴史的なまち並み



整備イメージ

新港エリア

■整備活用方針

富士山や駿河湾の眺望をはじめ、港や海辺の魅力、さらに既存施設や広大な空間等の本市特有の海の資源を活かし、新たなおもてなし拠点として、市民の憩いや観光交流の促進を図るエリア

■コア施設

(仮)やいづペイサイドパーク



整備イメージ

焼津漁港

焼津漁港は、全国有数の遠洋・沖合漁業の基地としてその名を知られており、漁港機能の一層の拡充を推進することにより、持続的な発展を目指すものとしております。

内港エリアや新港エリア以外においても、漁港の地域振興基盤としての可能性を活かし、にぎわい・交流を創出するまちづくりとの連携を図りながら、水産文化都市焼津の発展に寄与していくものとします。